

第1回 かなやま湖 氷上ばかんす!!



真冬のソフトボール「アラスカ野球大会」



2月12日、厚い氷が一面に広がるかなやま湖で、「第1回かなやま湖氷上ばかんす!!」が南富良野町商工会青年部の主催で行われました。

このイベントは、昨年まで行われていた「氷点下まつり」に変わって、冬のかなやま湖で1日楽しく遊ぶことのできる冬の目玉イベントにしようと、商工会青年部が中心となって企画されたもので、町内外から約300名の皆さんが湖上で行われた様々な遊びで、バカンスを楽しみました。ちよつと変わった真冬のソフトボールとして、平成8年まで行われていたアラスカ野球大会がこの日復活。選手は打席に入る前に飲物やおでんなど1品を注文し、打ったら1塁ではなく3塁に走り、ベースを踏む前に注文した飲物などを平らげなければ、ベースを踏むことができないという、ちよつと変わったルールがこの競技の特徴。富良野沿線などから7チームが参加して行われた大会では、な

かなか飲物を飲みきることができずにアウトになる選手が多く、お腹がいつぱいになって思うように動けず珍プレーが続出し、会場は爆笑の連続でした。この競技には池部町長も出場し、雪まみれになりながらも氷上ならではの華麗?なダイビングを披露するなど、大いに盛り上がりました。



この日はなかなか釣れませんでした。「ワカサギ釣り」

冬のかなやま湖といえば、名物の「ワカサギ釣り」。体験と大会の両方が行われました。今年は例年に比べて釣れるという評判でしたが、この日はなかなか釣果を上げる事ができず、待てど暮らせど釣りざおはピクリとも動きません。参加した

皆さんは、厳寒の湖上で寒さに耐えながら、真剣な表情で釣ぎおに注目していました。ちなみに大会で優勝した方の釣果は1匹でした。かんじきをはいて湖上を歩く「氷上ウォーク」では、氷に穴を開けて厚さを測ったり、アイスクリームやチョコフォンデュ作りにも挑戦しました。参加した子ども達は、氷上で食べるアイスクリームやチョコフォンデュの味も格別だったようです。



初めて氷上を歩きました。「氷上ウォーク」